

平成23年度初期臨床研修プログラム

【研修目的】

平成16年度から始まった新しい卒後臨床研修制度に則り、将来の専門性にかかわらず、医師として必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけ、医師としての人格を涵養する初期研修を目的とします。

【研修プログラム】

研修プログラムには以下の内科系、外科系、産婦人科、小児科の4つのプログラムがあり、いずれのプログラムにおいても、2年間の研修を終えた研修医には、研修管理委員会の議を経て研修修了証書が授与されます。

- (A) 内科系プログラム（内科各科、精神科、放射線科、病理部）
- (B) 外科系プログラム（消化器外科、呼吸器センター外科、循環器センター外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科）
- (C) 産婦人科重点研修プログラム
- (D) 小児科重点研修プログラム

将来の専門性などを考慮して (A)、(B)、(C)、(D) プログラムを選択し、研修を行う。

〔内科系プログラムローテーション例〕

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
1年次	内科1	内科2	内科3	救急	麻酔	外科
2年次	地域医療 1月・/ 選択科1月 (註1)	内科4	内科5	内科6あるい は選択科2 (註2)	内科7あるい は選択科3 (註2)	内科8あるい は選択科4 (註2)

註1：選択科1は1ヶ月の研修が許可される診療科選択すること。希望は1年目の12月までに申請する。

註2：採用試験時の志望が内科のもの選択不可。採用試験時の志望が精神科、放射線科、病理部のいずれかであるものは志望科を選択すること。

その他：ローテーション順序は各自異なる。また、1年目ローテーションは全て事前に決定されたものに従う。

内科は、血液、内分泌代謝、循環器、呼吸器、消化器、肝臓、腎、神経、内科総合診療から重複なくローテーションする。

[外科系プログラムローテーション例]

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
1年次	外科1	内科1	内科2	救急	麻酔	内科3
2年次	地域医療1月 ／選択科1 (註1)	外科2	外科3	外科4あるい は選択科2 (註2)	外科5あるい は選択科2 (註2)	外科6あるい は選択科2 (註2)

註1：選択科1は1ヶ月の研修が許可される診療科選択すること。希望は1年目の12月までに申請する。

註2：採用試験時の志望が消化器外科・呼吸器センター外科・循環器センター外科・乳腺・内分泌外科の者は選択不可。

採用試験時の志望が脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、麻酔科のいずれかである者は志望を選択すること。

その他：ローテーション順序は各自異なる。また、1年目ローテーションは全て事前に決定されたものに従う。

外科は、上部消化器・肝胆膵・下部消化器、呼吸器、循環器、乳腺・内分泌、分院を重複無くローテーションする。

[産婦人科重点研修プログラムローテーション例]

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
1年次	内科1	内科2	救急	麻酔	内科3	外科
2年次	地域医療1月 ／選択科1 (註1)	内科4	小児科	産婦人科		

註1：選択科1は1ヶ月の研修が許可される診療科を選択すること。希望は1年目の12月までに申請する。

[小児科重点研修プログラムローテーション例]

	4-5月	6-7月	8-9月	10-11月	12-1月	2-3月
1年次	内科1	内科2	救急	麻酔	内科3	外科
2年次	地域医療1月 ／選択科1 (註1)	産婦人科	内科4	小児科		

註1：選択科1は1ヶ月の研修が許可される診療科を選択すること。希望は1年目の12月までに申請する。

- * 地域保険医療の枠(1 ヶ月)では、在宅診療機関（「あおぞら診療所」）、診療所（「新家クリニック」「新浦安虎ノ門クリニック」）などから選択の上、研修する。
- * 上記のローテーション科及び期間等については多少の変更があり得る。
- * 各年次のローテーションの順序は個々の研修医毎に異なる。上記の表は1例である。